2024年3月期 | 第110期 第2四半期 **決算説明会**



2023年11月15日フタバ産業株式会社



FUTABA



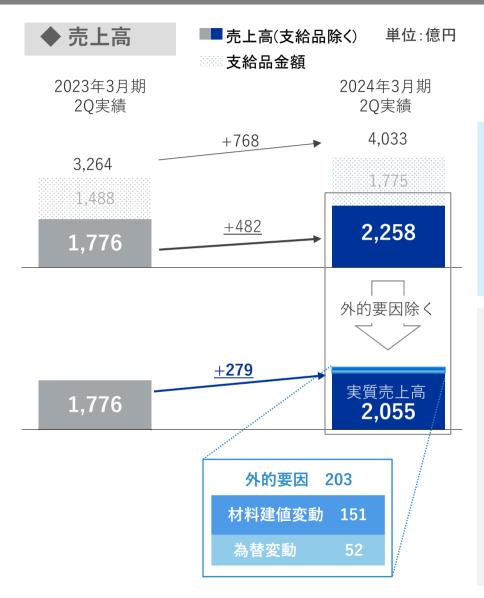
1. 2024年3月期 第2四半期 決算概況

2. 2024年3月期 通期業績予想

3. 中期経営計画の進捗状況等

単位:百万円

	2024年3月期 2Q実績		2023年3月 2Q実績	期增減	増減率	
売上高 [支給品込み]	403,340		326,457	+76,882	+23.6%	
[支給品除く]	225,850		177,643	+48,206	+27.1%	
営業利益	9,445	(2.3%)	▲289	+9,734 •0.2%)	-	
経常利益	9,527	(2.4%)	▲208	+9,736 +0.1%)	_	
親会社株主に 帰属する 当期純利益	6,739	(1.7%)	▲ 1,102	+7,841 +0.6%)	_	
() 内は売上高比率を表示 上段:支給品込み 下段:支給品除く						
為替レート (1ドル) 	141.0	円	134.0 円	7.0円の)円安	



- ・売上高は支給品込みで +768億円の増収
- ・支給品除く売上高は、+482億円の増収
- ・材料建値変動、為替変動影響を除くと 実質売上高は、+**279億円**〈+**15.5**%〉の増収

・支給品とは

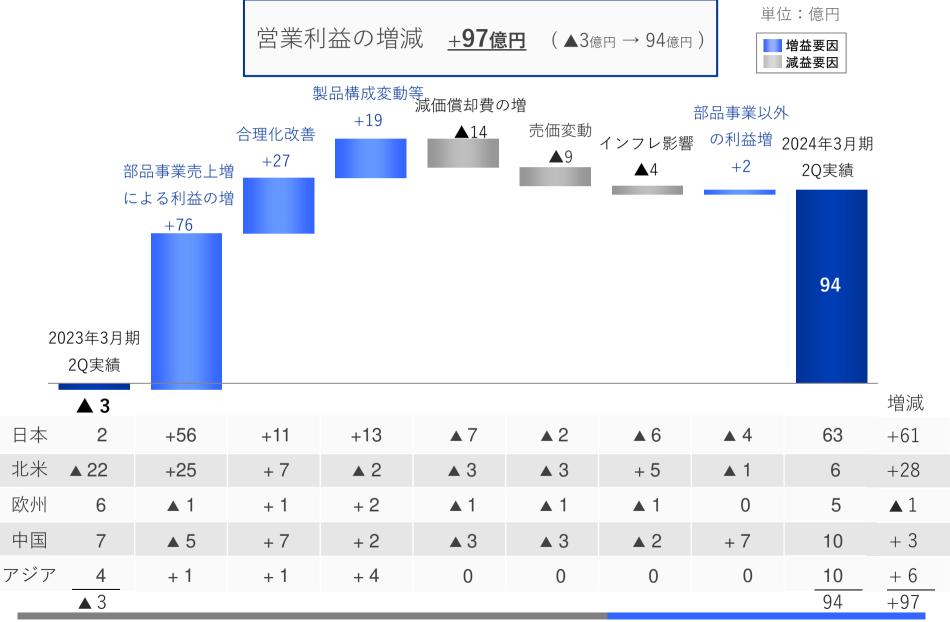
得意先から有償支給される触媒等の部品 支給品を含む製品の売価には、支給品額が含まれており、 利益影響はない

・材料建値変動とは

市況の変動により、材料の仕入れ単価と 売価の内材料費分が同額変動すること。 売上と原価が同額変動するので、利益影響はない

・為替変動影響とは

海外子会社の財務数値を円換算する際、 前期と当期の為替レートの差分 売上等が変動すること



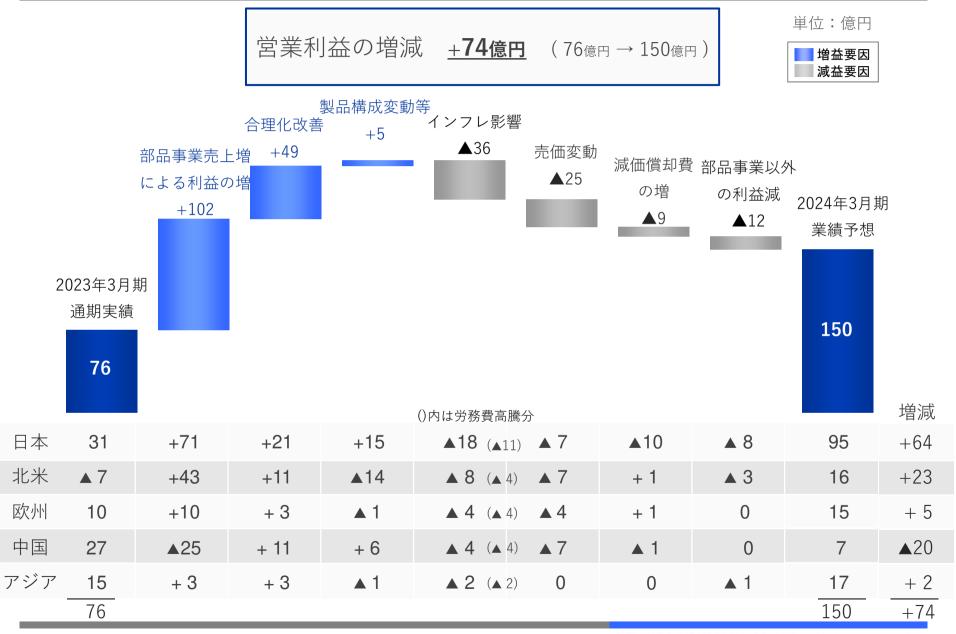
1. 2024年3月期 第2四半期 決算概況

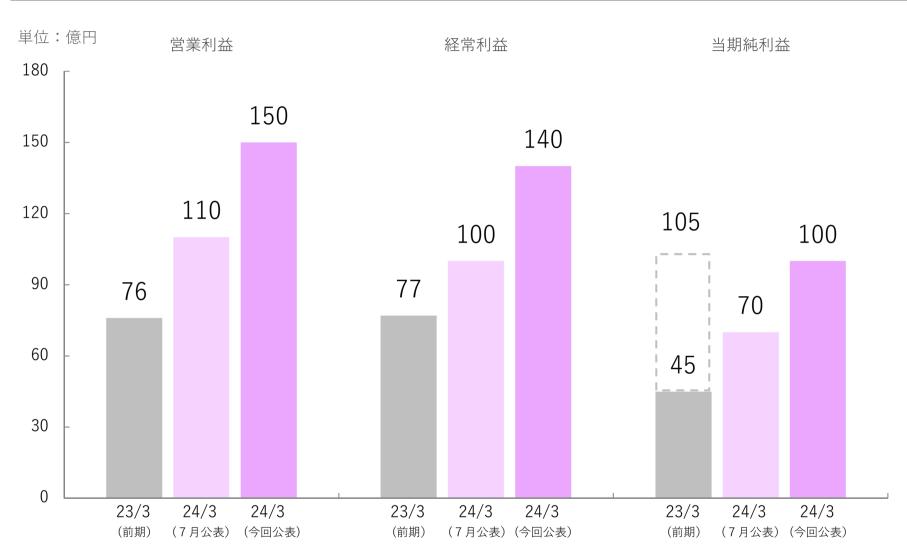
2. 2024年3月期 通期業績予想

3. 中期経営計画の進捗状況等

2Q実績及び3Qの足元の状況を踏まえ、7/27公表の通期業績予想を上方修正

						単位:億円	
	2024年3月期 今回予想	2024年3月期 前回予想	増減	増減率	2023年3月期 通期実績	増減	
売上高 [支給品込み]	8,100	7,700	+400	+5.2%	7,080	+1,020	
[支給品除く]	4,550	4,300	+250	+5.8%	3,972	+578	
営業利益	150 (1.9%) (3.3%)	110 (1.4%) (2.6%)	+40	+36.4%	76 ^(1.1%) (1.9%)	+74	
経常利益	140 (1.7%)	100 (1.3%)	+40	+40.0%	77 (1.1%)	+63	
親会社株主 に帰属する 当期純利益	100 (1.2%)	70 (0.9%) (1.6%)	+30	+42.9%	105 (1.5%)	4 5	
() 内は売上高比率を表示 上段:支給品込み 下段:支給品除く							
為替レート (1ドル)	140.0 円	130.0 ⊨	10.0円の)円安			





前期での繰延税金資産計上に伴う法人税等調整額 60億円を除くと当期純利益は前期比55億円増益

◆ 2024年3月期 配当予想

2024年3月期の配当予想は、業績予想が変更となったことに伴い 7/27公表時から変更し、 1株あたり30円(第2四半期末 15円、期末 15円)としたい

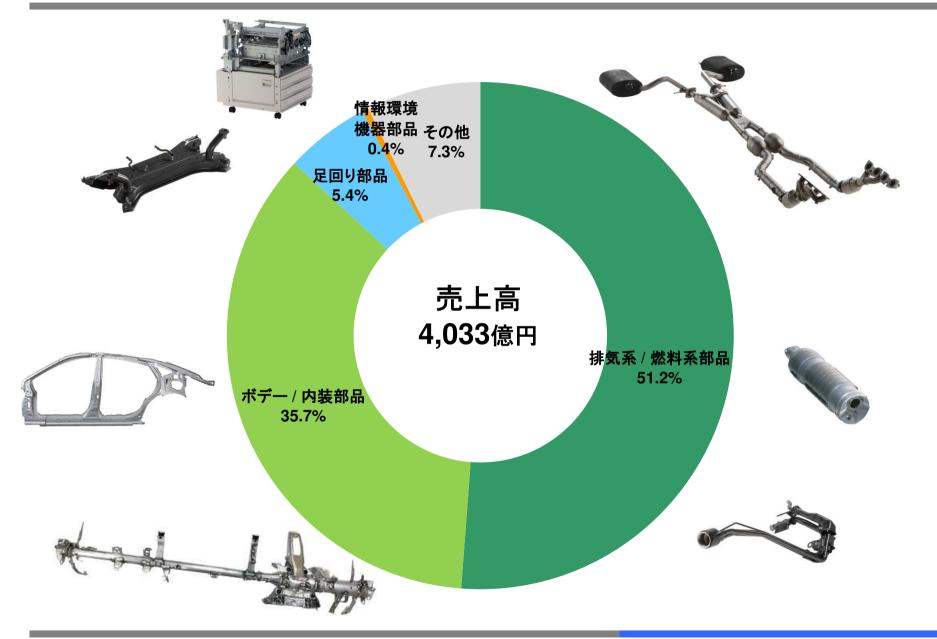
◆ 過去の配当の推移

	103期 (2017/3)	104期 (2018/3)	105期 (2019/3)	106期 (2020/3)	107期 (2021/3)	108期 (2022/3)	109期 (2023/3)
	円	円	円	円	円	円	円
第2四半期末	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
期末	3.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	15.00
合計	3.00	10.00	10.00	10.00	10.00	10.00	15.00
配当性向	4.6%	8.3%	25.5%	14.1%	21.9%	27.1%	※ 12.7%
	億円						
純利益	48	107	35	63	40	33	105

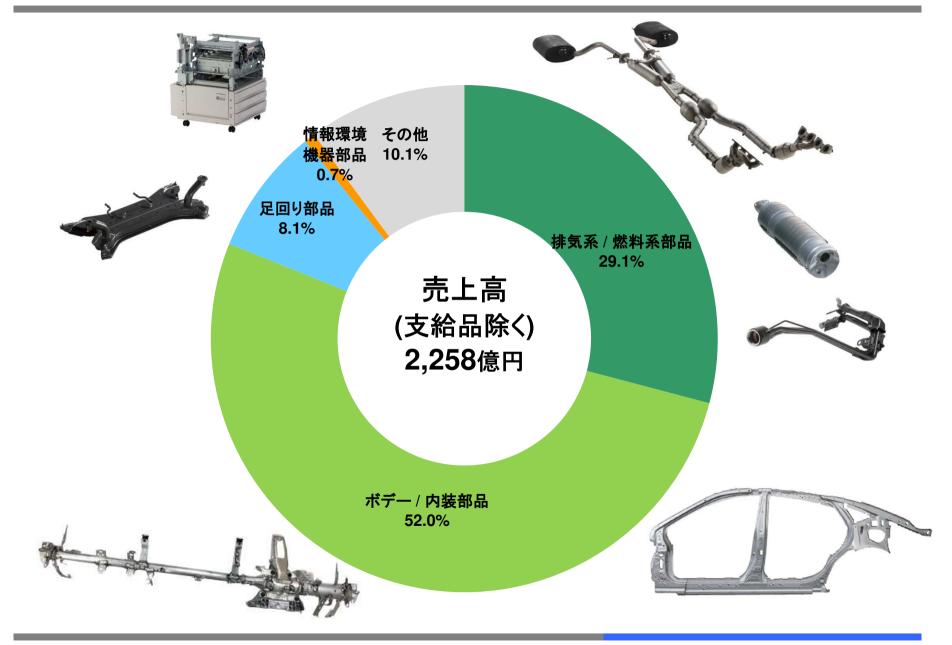
4/26公表 7/27公表

110期 (2024/3)	110期 (2024/3)	110期 (2024/3)
円	円	円
9.00	9.00	15.00
9.00	9.00	予 15.00
18.00	18.00	→ 30.00
29.3%	23.0%	≯ 26.8%
億円 55	億円 70	億円 予 100

※除〈繰延税金資産積増額(60億円) 純利益 45億円 配当性向 29.8%



【参考資料】2024年3月期 第2四半期 製品別売上構成比率(支給品除く)12



1. 2024年3月期 第2四半期 決算概況

2. 2024年3月期 通期業績予想

3. 中期経営計画の進捗状況等

財務体質の健全化

カーボンニュートラルへの対応

人への投資

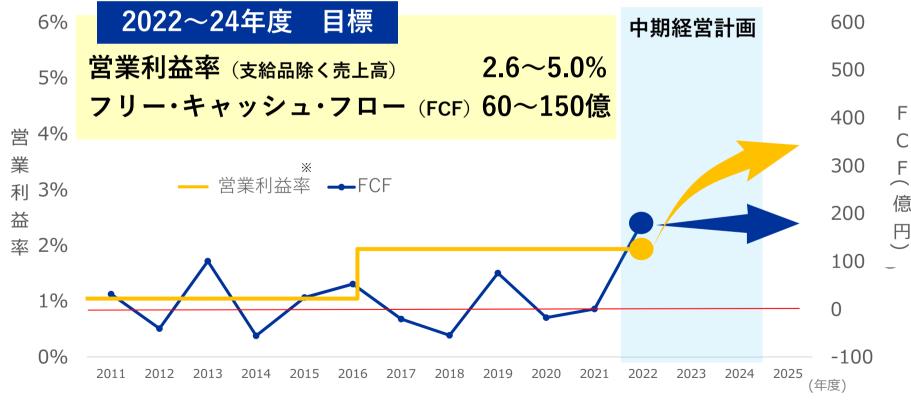
リスクと機会

稼ぐ力を強化し、 フリー・キャッシュ・フローの増加を図る



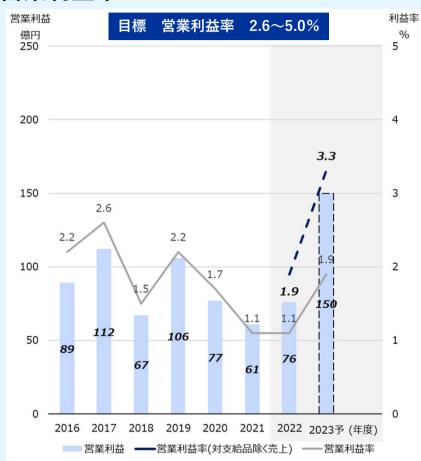
<使途>

- ①株主還元
- ②有利子負債返済
- ③成長投資



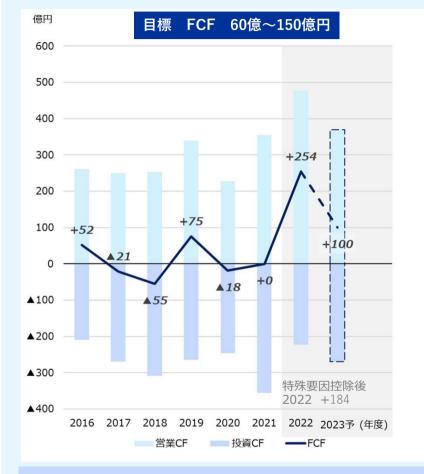
※ 21年度までは支給品込み

営業利益率



損益分岐点売上高を下げる活動の加速 変動費と固定費の両面から効率を上げる

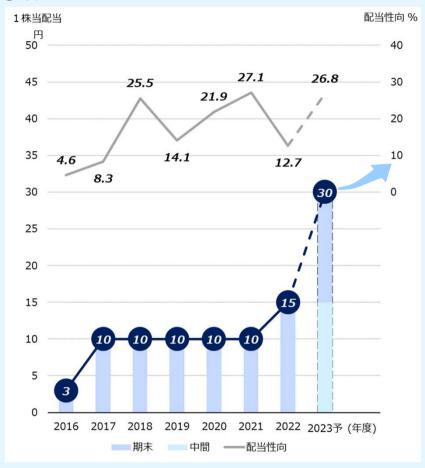
フリー・キャッシュ・フロー



安定的黑字化

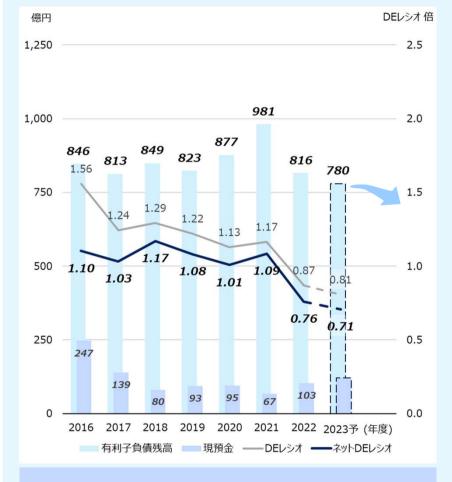
①株主還元、②有利子負債返済、③成長投資 (先行開発強化)に配分

①株主還元



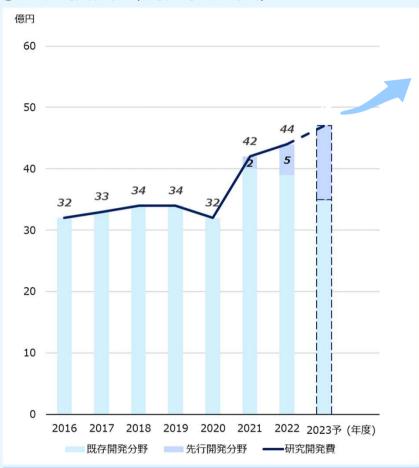
配当性向30%程度を目標と設定 配当額の維持・向上に努める ※中間配当を15年ぶりに実施

②有利子負債返済



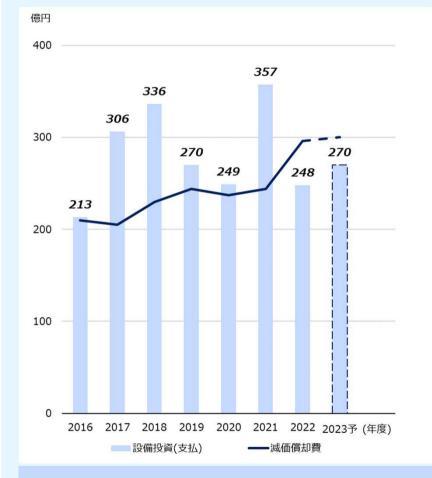
有利子負債の削減を継続 グループ間の資金流動性を高め有利子負債圧縮

③成長投資(研究開発費)



実質売上高に対して1%程度の研究開発費を、 2~3%まで拡大 既存分野から先行分野へシフト

設備投資の状況



フリー・キャッシュ・フロー目標達成のため、 設備投資額の上限を250~300億円と設定 減価償却費の範囲内の投資を基本原則とする

- → 中期経営目標を見据えた財務体質の改善に努め、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上と株主価値の向上を目指す
- ➤ PBR1倍の早期達成に向け、資本コストおよび株価を意識した経営を推進

資本収益性

ROE 10%以上

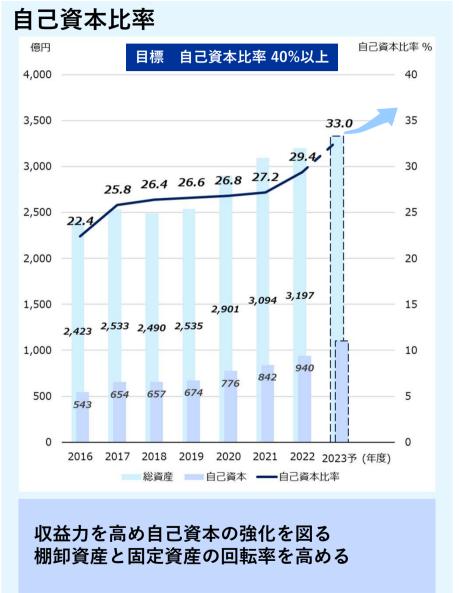
- ✓ 資本収益性を測定するKPIとして ROEを採用し株主資本コストを 上回る目標値を設定
- ✓ 設備投資検討の際にWACCを用いた社内ハードルレートを使用
- ✓ 拠点別に投下資本に対する利益を 測定評価

財務健全性

自己資本比率 40%超

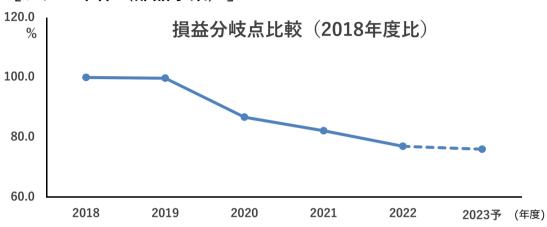
- ✓ 自己資本比率の向上とともに DEレシオを低下させることで 財務体質を強化
- ✓ 現在のJCRによる債券格付評価を BBB+からA-へ格上げを目指す
- ✓ 設備投資管理強化による設備投資額 の抑制を図る





損益分岐点の改善(日本)

[フタバ単体(部品事業)]

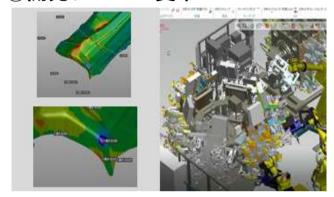


②ベストプラクティス活動



- ・プレスの生産性向上
- ・内装部品の収益向上
- ・排気系部品の競争力強化
- ・ボデー部品のライン寄せ止め
- ・排気系部品のライン寄せ止め

1開発プロセス変革



設計支援AI、生産工程シミュレーション 等により、開発リードタイム短縮

③生産管理業務ワンロケーション化

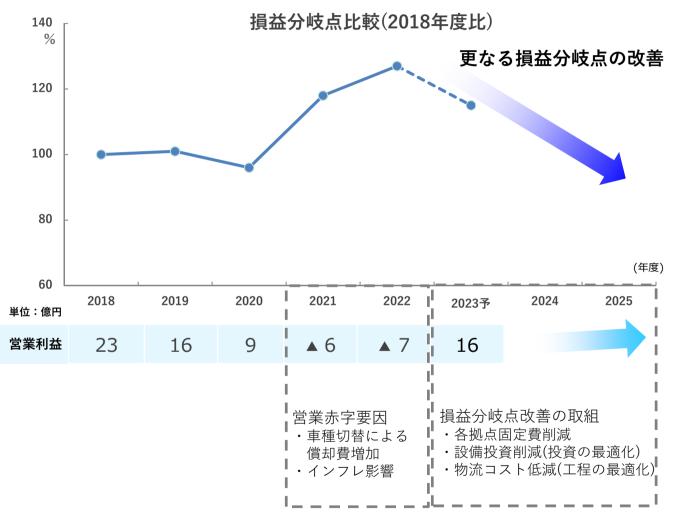


デジタルによる遠隔管理で間接工数削減

業界ベストを出来高・品質で追求、素早くグローバルへ展開

日本の活動をグローバル展開し、営業利益拡大を目指す

損益分岐点の改善(北米)







ベストプラクティス活動 グローバルへ拡大



物流改善 (AGV)

ベストプラクティス活動等の展開、更なる損益分岐点の改善を目指す

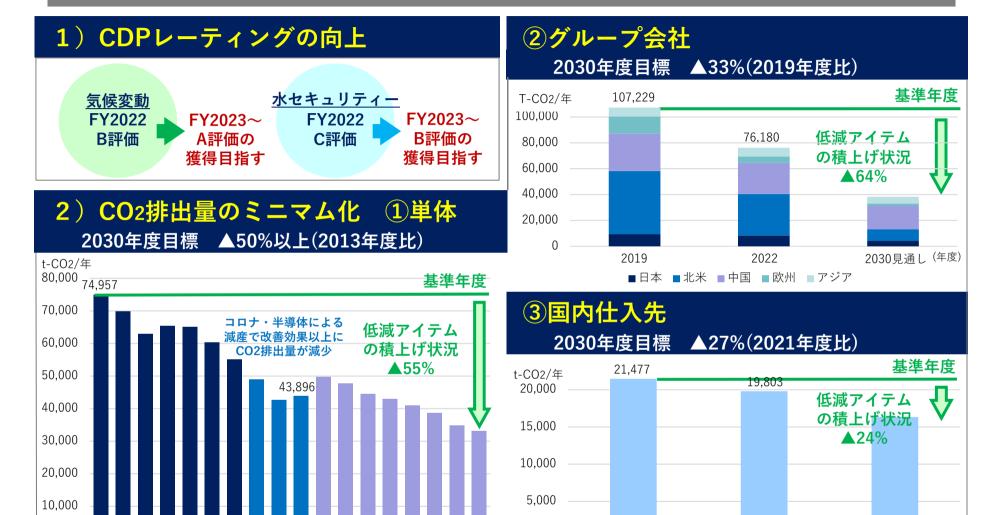
財務体質の健全化

カーボンニュートラルへの対応

人への投資

リスクと機会

2030見通し (年度)



3) CN達成 2035年 国内工場(単体・国内グループ会社)でチャレンジ

2021

2030見通し

2022実績

財務体質の健全化

カーボンニュートラルへの対応

人への投資

リスクと機会

「環境」「安心」「豊かな生活」という3つの提供価値の実現には、 "人材"が重要な事業基盤であり、人材に関する基本的な考え方が"全員活躍"

3つの提供価値

中期経営方針

全員活躍

一人ひとりの強み



働きがい

(働きやすさ+やりがい)



チャレンジ

従業員一人ひとりが、適材適所でそれぞれの強みを活かし、挑戦・活躍・成長すること、 会社の事業活動を通じて、会社の持続的成長に貢献することを目指します。

人材マネジメント

中長期的に必要となる多様な 人材の獲得・育成・活用

人事制度改革

「全員活躍」に向けた 基盤の構築

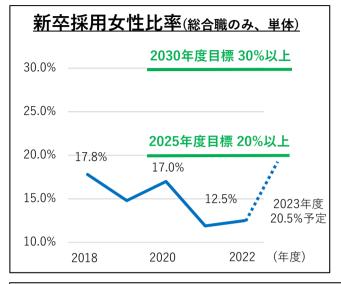
人材マネジメント戦略

- グローバル、デジタル、モノづくり人材の育成
- 多様な人材の活躍推進
- ■マネジメント人材の強化

全員活躍に向けた人事制度改革

- 健康経営の促進
- DE&Iの推進
- 多様な人材が働きがいを持てる職場環境づくり











女性社員 キャリアデザイン研修



Futaba North America Engineering & Marketing Co.社長 デーブ マーティン **Dave Martin**

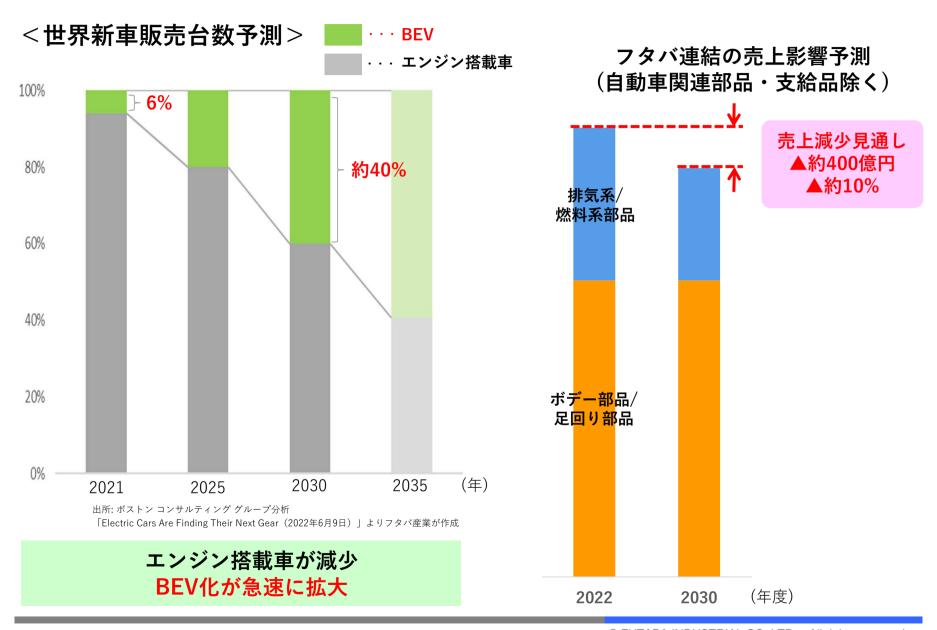
2023年度 外国人執行役員の登用

海外トレーニー キャリアプラン作成と実行 財務体質の健全化

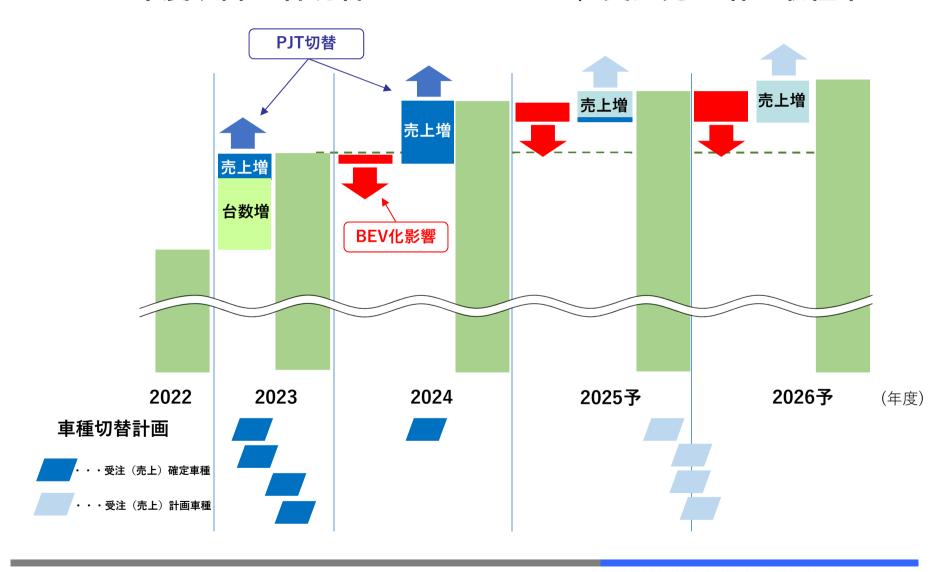
カーボンニュートラルへの対応

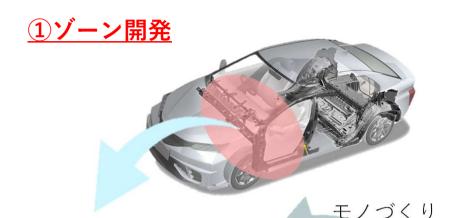
人への投資

リスクと機会



2023年度以降の各切替プロジェクトで、受注売上増に取組中

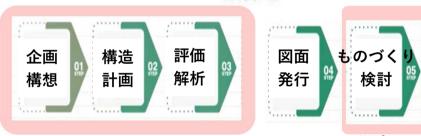




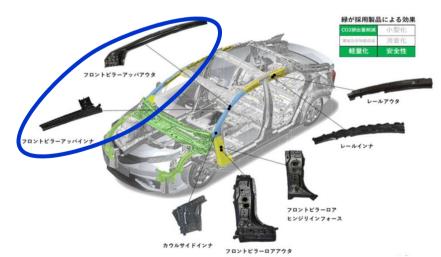
②超ハイテン材化への対応 (クルマの軽量化に貢献)

> 超ハイテン材を始めとしたモノづくりと、 性能(衝突)を両立させた積極的な構造提案 を今後も推進

<u>ゾーンでの解決提案</u> CAEを含む技術開発力を活用



フロントピラー(冷間超ハイテン1470MPa)



青色:1470MPa材、黄色:1180MPa材、緑色:その他主要ボデー部品

新たな付加価値

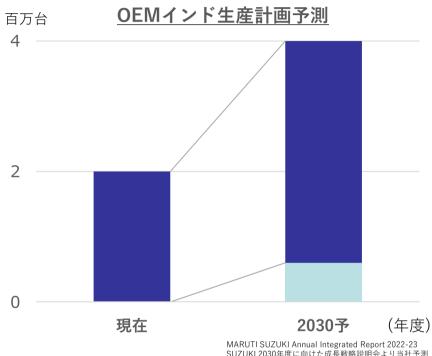
従来の 付加価値

-体提案





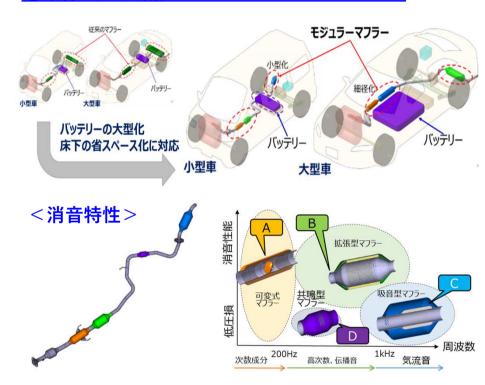
OEM事業拡大による拡販 (1)インド



■ BEV ■ エンジン搭載車 (エンジン搭載車: ICE, CNG, HEV, PHEV)

主要地域でBEV化傾向が進むなか、インド はOEM事業拡大方針に基づく需要が見込 まれるため、得意製品(排気管・エキゾ ーストマニホールド)の拡販を目指す

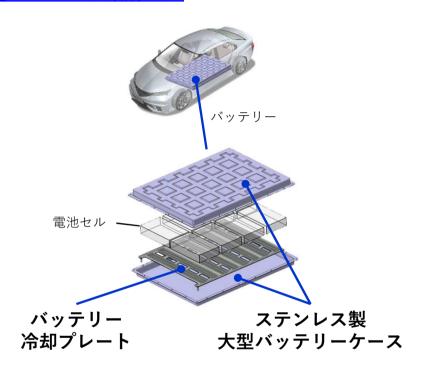
②新開発製品 モジュラーマフラー



15%以上の軽量化、40%以上のマフラー容量低減

モジュラーマフラーに代表される新開発 製品を使い、得意とするエンジン機能製品 (排気管・エキゾーストマニホールド キャニスター)のシェア向上を図る

①BEV用製品開発



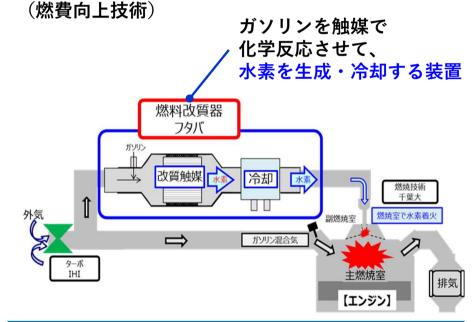
熱マネ・レーザー溶接・ステンレス成形といった得意技術を活用し、BEV用製品の開発を推進

2026年頃の採用を目指しOEMに提案中

②HV用水素活用技術開発

NEDOテーマ名 ハイブリッド車向け超希薄燃焼技術の開発

既存エンジン車において、水素着火を活用することで 超希薄燃焼を実現し、CO2を30%以上削減する



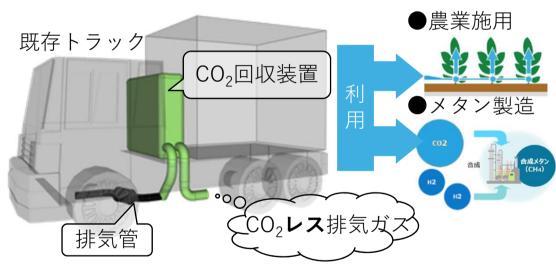
次世代エネルギーの一つである水素を活用して、既販エンジン車のCO2削減を目指した技術開発を推進

①物流トラックのCO2回収事業

物流業界の脱炭素達成に貢献することで、 地球**環境**維持と人々の**豊かな生活**の両立を目指す

<事業概要>

走行時に排出されるCO₂を分離回収するシステム **既存車**への改修・搭載の為、持続使用が可能



<共創型事業開発>

パートナーと自社の強みを活かした仮説検証推進

回収材料開発:東京大学

実車実証検討:SBSホールディングス社

システム開発:自社知見の活用

<事業運用イメージ>



<事業提供価値>

地球環境維持への貢献

温暖化ガスCO₂の排出量削減 既存車の持続使用による省資源化 CO₂の有効利用による再資源化

生活者の豊かな生活への貢献

配達利便性の存続 CO₂再資源化で環境貢献を実感

<推進日程>

項目	2022	2023	2024	2025	2026	2027
実施事項		事業開発 事業性確認		商品原	開発	リリース

②レーザー除草機

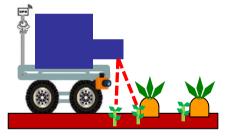
「みどりの食料システム戦略」(農林水産省策定) <2050年までに目指す姿>

- 1. 化学農薬の使用量を50%低減
- 2. 有機農業の取組面積を25%、100万haに拡大 etc.

有機農業の普及に貢献

人や農薬に頼らない除草の実現を目指す

<開発内容> 雑草を画像認識して レーザー照射により 除去するシステムの 開発を推進



<産学官連携強化>

~イメージ図~







23年度 新あいち創造研究開発テーマに採択

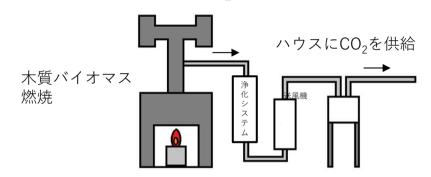
要素技術 開発

システム 設計 試作品 製作

農場実証

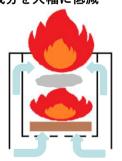
③木質バイオマス燃焼式 光合成促進システム

木質バイオマスを活用した、灯油燃焼式に代わる カーボンニュートラルなCO₂施用機を開発



<開発のポイント>

①強化型二次燃焼システムにより、 有害成分を大幅に低減



②更に浄化システムで排ガス中の ススや有害成分を取り除く



<今後の活動>

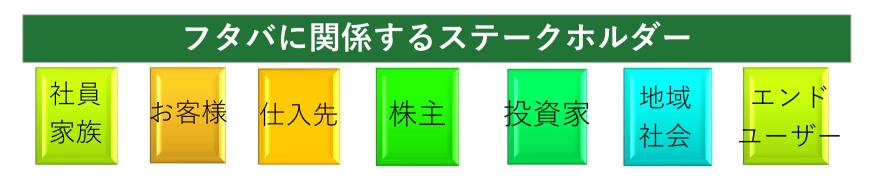
安全性評価、栽培実証を公的研究機関で検証し、 早期実用化を目指す。 ・3つの提供価値

「環境」 自然環境への負荷を低減する排気系部品

「安心」 人を危険から守り、安心できるボデー・内装部品

「**豊かな生活**」 生活品質を高める製品・サービス アグリーフ、新規事業(社会ソリューション創造室)

·多くのステークホルダーの皆様へ価値提供、 情報発信を増やしていきます



FUTABA

フタバ産業株式会社

https://www.futabasangyo.com/

【注意事項】

本資料に記載される当社(連結子会社を含む)の見通し等は、当社が現在入手している情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、 リスクや不確実性を含んでいます。従って、これらの業績予想等のみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるよう お願い申し上げます。 実際の業績は、様々な重要な要素により、これらの業績予想とは大きく異なる結果となり得ることをご承知ください。実際の業績に影響を与え得る 重要な要素には、当社、連結子会社および持分法適用会社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向、対米ドルをはじめとする円の為替レート などが含まれます。

本資料に掲載のあらゆる情報はフタバ産業株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに、複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。

本資料では、業績の概略を把握していただく目的で、一部の数値を億円単位にて表示しております。百万円単位にて管理している原数値を丸めて表示しているため、本資料に表示されている合計額、差額などが1億円の桁において、不正確と見える場合があります。